

土ねんどのような紙ねんど、彫塑ねんどを使ってお面をつくらう

# ゆかいなお面をつくらう

## 作品づくりのオススメポイント

- 彫塑ねんどは自然乾燥させるだけで、焼き物のような風合いに仕上がります。
- 発泡スチロール製のお面を芯材として使用しているので加工がしやすいです。
- 乾燥後、少し水をつけ、軍手などで磨くと金属のような光沢になります。
- 乾燥後、彫刻刀や紙やすりで簡単に加工でき、絵の具で発色よく着色できます。

用意するもの



- 彫塑ねんど
- カッターナイフ
- アルミ針金
- ゆかいな面
- ねんど板
- ヘラ



1 カッターナイフなどでお面を切り加工します。

**POINT** お面は加工せず、そのまま使用してもかまいません。



2 アルミ針金を刺し、つなのなどをつくります。

**POINT** 穴の部分にねんどを盛り付ける場合はガムテープで穴をふさぎます。



3 ねんどを薄くのぼし、お面全体につけます。

**POINT** 袋に小指の先ほど補修用にねんどを取っておきましょう。



4 目・鼻・口などにねんどを盛りつけていきます。

**POINT** 部品が外れないように、しっかり指先でねんどをならします。



5 ヘラなどで細かい部分を仕上げ乾燥させます。

**POINT** 乾燥後、補修する場合は補修箇所に水をつけねんどを刷り込みます。



乾燥後



水彩絵の具などで発色良く着色する事ができます。

**POINT** ねんどの色を生かした配色を心がけましょう。

乾燥後



水をつけ、軍手などで磨くと光沢が出ます。

**POINT** 磨く時に壊れないようにしっかりとした作品をつくりましょう。

乾燥後



彫刻刀で削り加工する事ができます。

**POINT** 失敗した場合、残しておいた補修用のねんどで埋めましょう。

